

平成 28 年 12 月 7 日
資金管理センター

平成 28 年度上半期における債券購入及び取引証券会社の検証

1. 債券購入

資金管理業務規程で定める「運用の基本方針」に基づき行う「債券購入に伴う約定の検証」の結果及び債券購入実績を以下のとおり報告する。

(1) 債券購入に伴う約定の検証(平成 28 年 4 月～9 月)

個別債券毎に取引証券会社 6 社全てに対して条件の提示を求め、最良の条件を提示した証券会社から購入していることを確認した。

(2) 購入実績(平成 28 年 4 月～9 月)

平成 28 年度上半期における購入実績は 647 億円(簿価)となった。

1 社当たりの購入金額(比率)は、10 億円(1.5%)～218 億円(33.7%)となり、購入金額別の証券会社 6 社(A～F)の分布は下表 1 のとおりである。

また、四半期毎の購入金額別証券会社分布は下表 2 のとおりである。

<表 1 平成 28 年上半期の購入金額別証券会社分布>

1 社当たりの購入金額(簿価)	証券会社
140 億円以上	A B F
100 億円以上 140 億円未満	—
60 億円以上 100 億円未満	E
20 億円以上 60 億円未満	C
20 億円未満	D

<表 2 四半期毎の購入金額別証券会社分布>

1 社当たりの購入金額(簿価)	第 1 四半期	第 2 四半期
70 億円以上	A B F	F
50 億円以上 70 億円未満	E	A
30 億円以上 50 億円未満	—	B
10 億円以上 30 億円未満	C	—
10 億円未満	D	C D E

2. 取引証券会社の検証(平成 28 年 4 月～9 月)

取引証券会社については、半期毎に変更の必要性の検証を行うこととしており、証券会社との安全・確実な取引の実施及び効率的かつ最善な取引実施の観点から、平成 28 年度上半期における証券会社の検証を実施した。

(1) 安全・確実な取引実施の検証

以下 5 点を定常的に確認し、事態の発生都度、その内容及び重要性を判断し、必要な場合には取引停止等の処分を決定するが、6 社いずれも問題は発生していない。

- ①コンプライアンスに抵触していないか
- ②経営に重大な問題が生じていないか
- ③取引上の重大な事務ミスはないか
- ④自己資本規制比率が 200%以上であるか
- ⑤国債落札総額及び普通社債の主幹事実績に一定の実績があるか

(2) 効率的かつ最善な取引実施の検証

上半期における取引執行能力及び情報提供能力を検証した結果、6 社いずれも問題はなかった。

以上の結果から、取引証券会社 6 社(※)との取引を継続することとした。

(※) SMBC 日興証券(株)、大和証券(株)、野村證券(株)、みずほ証券(株)、メリルリンチ日本証券(株)
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券(株)

以上